



基礎研究医養成プログラム セミナーのご報告

第二回新潟大学連携セミナー

オートファジー：その異常と疾患

■講師 新潟大学 大学院 医歯学総合研究科 分子遺伝学分野 教授 **小松 雅明** 先生

神経成長のメカニズムと生化学

■講師 新潟大学 大学院 医歯学総合研究科 神経生化学分野 教授 **五十嵐 道弘** 先生

2015年11月7日(土) 10:00-12:00に、10号館1階105カンファレンスルームにおいて、当プログラム主催で、昨年度に引き続き第二回目となる新潟大学連携セミナーを開催しました。新潟大学大学院医歯学総合研究科分子遺伝学分野教授 小松雅明先生には「オートファジー：その異常と疾患」と題したご講演を、新潟大学大学院医歯学総合研究科神経生化学分野 教授 五十嵐道弘先生には「神経成長のメカニズムと生化学」と題したご講演を行っていただきました。ご講演では、先生方がどのようにして研究者への道を進まれたのかといったお話から最新の知見までを大変分かりやすくお話していただきました。熱心な学生からの質問もあり、その質問はセミナー終了後にまで及んでいました。

2015.11.7



順天堂大学大学院医学研究科主催、基礎研究医養成プログラム後援セミナー

神経成長のメカニズムと生化学

■講師 筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 (WPI-IIS) 機構長 教授 **柳沢 正史** 先生

2015年11月13日(金) 18:00-19:30に、センチュリータワー南8階講義室において、順天堂大学大学院医学研究科主催、老人性疾患病態・治療研究センター、ゲノム・再生医療センター、基礎研究医養成プログラム後援による、筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 (WPI-IIS) 機構長 柳沢正史教授によるセミナー「睡眠覚醒の謎に挑む」が開催されました。ご講演では、オレキシンの発見から、ノックアウトマウスの解析によりこの分子が睡眠覚醒のキーとなり、ナルコレプシーの原因となることを明らかにされた過程や、今後の治療への応用についてなどを分かりやすくお話していただきました。85名の参加者があり、ご講演後には当プログラム登録学生を含め多数の質問がでていました。今後の研究活動へのモチベーションの向上に非常に役立ちました。

2015.11.13



基礎研究医養成プログラム ランチタイムトークのご報告

2015年度 M1 研究スタート支援「ランチタイムトーク」

さくらキャンパスの新M1を対象に、基礎研究医養成プログラムの先輩学生から研究や学会発表などの活動についての話を気軽に聞くことができるように、毎週月曜のランチタイムを利用し本郷キャンパスからのTV中継による「ランチタイムトーク」を開催しました。

研究はいつごろから開始したのか、どんな研究をしているのか、その他の活動との両立はできるのかなどを紹介していただき、疑問点や不安なことなどについての活発な質疑応答を行いました。研究の内容はM1の皆さんには少し難しく感じたかもしれませんが、でも、発表をしてくださった先輩たちも初めは同じように研究内容が難しいと思っていたと思いますが、1年、2年と研究を続けたことで難しい研究内容を発表できるまでに成長されました。この機会に、多くの学生の皆さんが研究に興味を持って、基礎研究医を目指すきっかけになってくれることを期待します。

- ① 4/20 (月) M3 古谷 祥吾 君 (公衆衛生学講座所属) 司会: 佐田チューター
- ② 4/27 (月) M4 河野 智考 君 (公衆衛生学講座所属) 司会: M4 小川 竜弥 君
- ③ 5/11 (月) M4 金子 恵 さん (熱帯医学・寄生虫学講座所属) 司会: M4 小松 沙沙子 さん
- ④ 5/18 (月) M4 山田 晃平 君 (老人性疾患病態・治療研究センター所属) 司会: M4 本多 一貴 君
- ⑤ 5/25 (月) M4 鈴木 佑治 君 (老人性疾患病態・治療研究センター所属) 司会: M4 田中 元基 君
- ⑥ 6/1 (月) M4 山田 泰平 君 (老人性疾患病態・治療研究センター所属) 司会: 難波 春香 さん



基礎研究医養成プログラム ランチタイムセミナーのご報告

挑戦をつづけるということーアメリカでの内科レジデンシー生活をとおしてー

■講師 Mount Sinai Beth Israel 内科レジデント **村上 尚加** 先生

2015年6月22日(月)に、米国Mount Sinai Beth Israelにて内科レジデントをされていらっしゃる村上尚加先生による「挑戦をつづけるということーアメリカでの内科レジデンシー生活をとおしてー」と題したセミナーを開催しました。本郷キャンパスからのTV中継により、さくらキャンパスのM1にも参加していただきました。セミナーでは、先生がアメリカでレジデントになるまでの経緯や必要な準備、試験や手続きについて、アメリカでの生活の様子や日本との違いなどを先生のご経験に基づき非常に具体的にお話してくださいました。さくらキャンパス、本郷キャンパスのどちらの学生からも多くの質問がでて、大変盛り上がりしました。

2015.6.22



研究と臨床と育児、ぜんぶやりたい！～とある放射線科医の試行錯誤～

■講師 順天堂大学 医学部 放射線科 准教授 **隈丸(國島) 加奈子** 先生

2015年10月6日(火)に、順天堂大学医学部放射線科准教授の隈丸(國島)加奈子先生による「研究と臨床と育児、ぜんぶやりたい！～とある放射線科医の試行錯誤～」と題したセミナーを開催しました。放射線科におけるご研究の内容だけでなく、医師としてのキャリアをどのように積まれてきたのか、現在は3人のお子さんの母でありながら、どのように研究と臨床と育児を両立させていらっしゃるか、人生の岐路に立った時の道の選び方など、先生のご経験をふまえたお話をしていただきました。M2、M3の学生を中心に多数の学生がセミナーに参加し、自分たちの将来像を思い描きながら興味深くお話をうかがい、セミナー後の質疑応答でも多数の質問がでていました。

2015.10.6



米国での研究生活の実情 ～Brigham and Women's Hospital への短期留学～

■講師 3年生 **泉 宜秀** 君

2015年10月20日(火)に、3年生の泉宜秀君により「米国での研究生活の実情～Brigham and Women's Hospitalへの短期留学～」と題したセミナーを開催し、夏休みを利用して行った Dr. Yoshihide Kanaoka Lab, Division of Rheumatology, Immunology, and Allergy, Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School への短期研究留学の経験をお話してもらいました。このような発表は初めてで、どんな話をしたらよいのかなあ、、、と言っていた泉くんでしたが、実際のセミナーでは、アメリカの研究室での研究内容や生活、日本の研究室との違い、ボストンの宿泊事情や休日の過ごし方などを楽しくお話してくれました。また、旅行ではなく海外で「生活」をしたことが良い経験になったことや、英語のヒアリングの大切さを痛感したことなども伝えてくれました。セミナーにはM2、M3の学生を中心に、泉くんが日頃の研究活動を行っている生化学第一講座の皆さんも多数参加してくださいました。学生の皆さんは、今回のセミナーをきっかけに、来年度の海外短期留学を目指してみませんか？

2015.10.20



自然リンパ球発見の裏ばなし

■講師 東京大学 大学院 医学研究科 免疫学 **澤 新一郎** 先生

2015年11月27日(金)に、東京大学大学院医学研究科免疫学 澤 新一郎先生による「自然リンパ球発見の裏ばなし」と題したセミナーを開催しました。当日は、澤先生が臨床もご経験された後、どのように研究医の道に進まれたのか、フランス・パスツール研究所での留学生活についてなど、これから研究をはじめようとする学生の皆さんに向けた大変興味深いお話をしていただきました。先生のお話が大変面白く、残念ながら時間が足りず、自然リンパ球発見に関する研究についてのお話はだいぶ駆け足になってしまいましたが、参加した方々からは、いろいろなお話がうかがえて大変参考になった、早くに研究を開始する大切さを知ったなどの感想が集まりました。

2015.11.27



基礎研究医養成のための順天堂型教育改革

平成 24 年度 文部科学省事業「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成」「医学・医療の高度化の基盤を担う基礎研究医の養成」に採択されました。(39 大学申請、10 大学選定)

- ・この事業は、医学部及び医学系大学院において、魅力ある基礎研究医養成プログラムを構築する優れた取組みを支援するものです。
- ・これまでの研究医養成枠、基礎医学研究者養成奨学金貸与等の取り組みに加え、医学部・大学院をシームレスにつなぐ特別コースを実施します。

基礎研究医養成プログラム専用スペース



本郷・お茶の水キャンパス
センチュリータワー南
7階S703

最新情報はコチラ → <http://www.juntendo.ac.jp/kenkyui>
お問合せはコチラ → e-mail : kenkyui@juntendo.ac.jp

本プログラムに興味のある方は、下記までお問い合わせ下さい。

本郷・お茶の水キャンパス

- 内容について 基礎研究医養成プログラム室
- 具体的な相談について キャリア支援相談室
- 手続き・その他について 本郷・お茶の水キャンパス事務室(03-3813-3111、内線 3221)

さくらキャンパス

○相談窓口 事務部 教務課(0476-98-1001、内線 215)